

高梁学園学術研究コンファレンスの開催にあたって

学校法人高梁学園
理事長・総長 加計美也子



平成19年度（第4回）高梁学園学術研究コンファレンスの開催に際しまして、ひとことご挨拶申し上げます。本学園は、昭和42年に加計勉名誉理事長が岡山県高梁市に順正短期大学並びに順正高等看護専門学校を設立して以来、平成2年に吉備国際大学を開設し、平成11年には宮崎県延岡市に九州保健福祉大学を開設して参りました。さらに、平成17年4月には宮崎県宮崎市に九州保健福祉大学総合医療専門学校を開設いたしました。このように、本学園は短期間に大きく量的拡大を成し遂げてきたと思います。しかし、それとあいまって、私達は質的な向上を図らなければなりません。日本の社会全体の様々な動きが量的拡大から質的向上へと転換される中で、大学における教育・研究の質が問われるようになってきているからです。類似する多くの大学の中からオンリーワンになるためには、教育・研究の質を高めなければなりません。

本学園の吉備国際大学、九州保健福祉大学及び順正短期大学は、大学評価機関として文部科学省から正式な認証を受けた（財）大学基準協会及び（財）短期大学基準協会から、私立大学としての一定の水準を保ち社会貢献を果たしているとの評価を得ることができました。しかし、本学園は、このことで満足することなく、さらなる質の向上に取り組む必要があります。

本学園では、「学生一人ひとりのもつ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する」という建学の理念を柱に、知識・技術の習得に偏らず、人間性向上についても考慮した教育・指導に取り組んでおりますが、平成16年に発足した高梁学園学術研究コンファレンスは、研究面の質的向上を目指したものであります。本学園の各設置校それぞれの枠を超えて、教員が横断的に連携することにより、新たな視点を持った専門性の高い学際的研究及び高梁学園全体の学問水準の向上、若手研究者の育成をはかり、できる限り地域に貢献しうることを目的としております。

さらに昨年度から、教育部門の発表の場を設け「建学の理念を達成するための教育上の試み」をコンセプトとして、高梁学園設置校における特色ある教育上の取組みとともに、より質の高い教育活動実践に向けての創造的、先駆的取組みについて学内外に紹介することとしました。

今回の発表は教育部門6編、研究部門10編ありますが、これらは既に各校による学内審査をパスしたものであります。本コンファレンスでは、広く学外の方にも公開するとともに、厳正な審査を行うため、和田昭允先生を委員長とする外部の学識経験者9名の先生方に審査をお願いし、優秀な研究には、創立者加計勉賞、総長賞、キャンパス賞（旧学長賞）、市長賞などを授与することになっております。

最後になりますが、本コンファレンスが未永く継続し、今後ますます発展していくことを心から期待しております。